

# 日本共産党 伊勢崎市議団ニュース

2010年  
秋号



北島 元雄  
24-8410  
090-4065-2120



長谷田 公子  
25-1130  
090-2935-9963

編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団  
伊勢崎市北千木町 2087 25-4854

## 不況にあえぐ市民よそに市財政は健全化 昨年度決算から

九月一日から二八日まで定例市議会が開かれ、北島市議が決算の総括質疑を行いました。

### おびやかな雇用対策

昨年五月の有効求人倍率は、〇・二一と最低を記録しました。失業者を雇用する「緊急雇用」は当初予算では五〇人だけ。九月補正でやっと本格的な雇用増をはかり、二六〇名の雇用となりました。年度はじめから取り組んでいけばもつと的確に、失業者支援が行えたはずですが、労働者を解雇せず休業した企業を支援する、雇用安定助成金は、三〇五〇万円の予算を組みました。

しかし上限を一事業者三〇万円にするなど大幅な基準縮小で、五八社八二六万円に止まりました。百年に一度の厳しい状況の中で、二千万円を超える雇用対策の予算が繰越となりました。どちらも全額、国の交付金事業です。それすら有効に活用で

きない、おびやかな雇用対策にとなりました。

### 遅れた教育環境整備

不況で給食費の滞納が二割増加するなど、子どもをとりまく環境も深刻です。伊勢崎市では基準が厳しく、学用品や給食費を支援する就学援助は、県内旧五市の中で受けられる割合は一番少なく前橋の半分以下です。

学校施設の耐震化率は、旧五市の中では最下位。赤堀中の新設移転などがやまと決まりましたが、不足する教室の手当ては、家庭科室など特別教室を利用してしのいでいる学校が多く残されています。

新設の四ツ葉学園では、クーラー付の教室で、三十人学級、十人授業が特徴の充実した教育環境です。



四ツ葉学園学校紹介では「県内公立校で数少ない全教室エアコンつき」と紹介

選抜試験で選ばれた子どもにはよい環境を、そうでない子にはそれなりにということでは、格差の極みです。

### 財政はトップクラス

市の貯金である財政調整基金は、昨年十二億円も増えました。不況であえぐ市民をよそに、やるべき事もやらずに借金を減らし、貯金を殖やしました。財政の健全度を示す指標は二年連続で改善。旧5市ではトップです。市民サービスは最低でも、財政健全度はトップクラスと喜べるでしょうか？

### 旧5市中トップの財政指標

	実質公債 費比率	将来負担 比率	財政調整基金
伊勢崎	8.4	77.5	26,180 円
前 橋	13.1	119.7	16,492 円
高 崎	9.8	94.4	19,961 円
桐 生	12.4	97.3	8,697 円
太 田	9.9	112.3	18,405 円

※公債費比率、将来負担比率は低い方が健全  
財政調整基金は一人当たりの額、多いほどよい